

3年 1学期【国語】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
かえるのびよん		「かえるのびよん」を読み、詩の情景についてイメージを広げたり、音読し合ったりしている。	「びよん」になったつもりで、様子や気持ちをイメージしながら読み方をいろいろ工夫して音読し合っている。
白い花びら	「白い花びら」の中で気に入った言葉や表現を捉え、またその理由を説明している。	登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	ゆうたを中心にかずきや女の子の行動や気持ちを読みながら、気に入った言葉に着目して、物語を楽しんでいる。
		女の子について不思議だと思うところを、場面ごとに考えてノートにまとめている。	
たからものをしょうかいしよう	自分の宝物とそれはなぜ宝物か、その理由や事例について理解している。	伝えたいことが伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の組み立てを考えている。	宝物の紹介をとおして、「話す前」「話すとき」「聞くとき」に気をつけて筋道を立てた発表をしている。
うめぼしのはたらき	「なぜうめぼしを食べるのか」、その理由や事例、全体と中心などの関係について理解している。	段落相互の関係に着目しながら、「なぜうめぼしを食べるのか」、その理由や事例との関係などについて、叙述をもとに捉えている。	確かめたことをもとに、他の段落を読み、説明文の読み方を確かめている。
めだか	段落の役割について理解しながら、「めだか」を読んでいる。	段落相互の関係に着目しながら、めだかの身の守り方や体の特徴などについて、叙述をもとに捉えている。	めだかの身の守り方や体の特徴などについて、段落相互の関係に着目したり、段落の要点をまとめたりしながら読んでいる。
		「めだか」を読んでわかったことを、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えてまとめている。	
		「めだか」を読んで思ったこと・考えたことについて、理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	
俳句に親しむ	易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	好きな俳句を選んだ理由が相手に伝わるような表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	俳句の形式やその内容の大体を知るとともに、声に出して読み、言葉のリズムを楽しんでいる。
本で調べよう	「読書カード」を、必要な語句などを書き留めたり、出典を示したりして書くことができる。	記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことについて「読書カード」に書き、読み合っている。	目次や索引の役割を知り、必要な情報を得るために、それらを活用して効果的に本を読み、知りたいことを調べている。

クラスの生き物 ブックを作ろう	主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。	書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章を書いている。	調べたい生き物の特徴を探し，組み立てメモを作っている。
		図や資料，理由や具体的な例を挙げて，調べたことをまとめた文章を書いている。	
のらねこ	リョウやのらねこの様子や行動，気持ちや性格を表す語句を読み，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにしている。	リョウやのらねこの気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	場面の展開に即して，リョウとのらねことのふれあいを，そのときの様子や気持ちを想像しながら読んでいる。
		「のらねことリョウのかいねこのちがい」「『のらねこ』を読んだ感想」など，書く内容の中心を明確にして文章の構成を考えている。	